

産業応用フォーラム「自動車の自動運転システム」

概要：自動車の自動運転システムは、ヒューマンドライバが運転するときに行う認知・判断・操作をすべて機械が行うシステムで、自動車交通へのオートメーションの導入であり、その目的は自動車交通の安全と効率の両立にあります。1950年代から研究が始められましたが、現在のところ公道での実用化には至っていません。しかし、近年では実用化をめざして安全に加えて省エネルギー、環境を目的として日欧米でトラックやバスの自動運転システムのプロジェクトが進行しています。我が国ではNEDOのエネルギーITS推進事業で大型トラック3台の自動隊列走行システムが開発中であり、欧州では、同じくトラックの自動隊列走行システムKONVOIプロジェクトが終了し、現在では、限りなく自動運転に近い運転支援を目指すHAVE-itプロジェクトやトラックを先頭車とする乗用車の自動隊列走行システムSARTREプロジェクトが進行し、米国では路線バスの停留所付近における自動運転や大型トラックの隊列走行システムの研究が行われています。フォーラムでは、以上のような現在の自動運転システムの欧米日の動向と課題に加え、その要素技術である、センシング技術、制御技術、通信技術、さらには我が国のエネルギーITS推進事業で開発中の大型トラック3台の自動隊列走行システムを解説します。講師は、「自動車の自動運転システムに関する調査専門委員会」（設置期間：平成20年12月～平成22年11月）のメンバーとエネルギーITS推進事業における開発担当者が務めます。本フォーラムは、ITS（高度交通システム）、特に運転支援や自動車の自動運転システムに関心のある技術者、研究者、学生等の皆様を広く対象として開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時：平成23年8月26日（金）14:00～17:00

会場：電気学会 会議室

東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZON ビル8階

JR 総武線（中央線各駅停車）市ヶ谷駅下車、徒歩2分

TEL: 03-3221-7312

プログラム：

- 14:00-14:05 開会、主催者挨拶
- 14:05-14:35 自動車の自動運転システムの動向 津川 定之（名城大学）
- 14:35-15:05 自動車の自動運転システムのためのセンシング技術 菅沼 直樹（金沢大学）
- 15:05-15:35 自動車の自動運転システムのための制御技術 大前 学（慶應義塾大学）
休憩
- 15:55-16:25 自動車の自動運転システムのための通信技術 関 馨（日本自動車研究所）
- 16:25-16:55 エネルギーITS推進事業における大型トラック自動隊列走行 青木 啓二（日本自動車研究所）
- 16:55-17:00 主催者挨拶、閉会
司会進行：加藤 晋（産業技術総合研究所）

テキスト：電気学会技術報告1220号「自動車の自動運転システム」をテキストとして使用します。

なお、希望者には特別価格（税込）¥2,100（定価¥2,730（税込））で頒布しますので、お申し込み時にその旨を記載ください。

参加費：会員（正員） ¥3,000-（非課税）、非会員（一般） ¥4,000-（税込）

会員（准・学生員） ¥1,500-（非課税）、非会員（学生） ¥2,000-（税込）

申込方法：8月18日（木）までにホームページ<http://www.iee.or.jp/forum.html>からお申込みください。

定員50名に達し次第、締め切らせていただきます。

参加費支払い方法：参加費は、当日に現金でお支払い願います。領収書は、原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが、その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。

主催：電気学会産業応用部門 ITS 技術委員会（委員長：日本大学 泉 隆）